



その情報は本当に自分に必要か

現代人が 1 日に受け取る情報量は、江戸時代の 1 年分に匹敵するそうです。平安時代なら、なんと一生分に相当するのだとか。

それほど膨大な情報量を浴びながら生きている現代において、どんな情報を選び取っていくかという「選択力」は非常に重要な力です。

昨日の朝のことでした。

「先生、なんでその曲をずっと聞いているの？」

と、何人かの子達から尋ねられました。

聞いていたのは、「青と夏」や「愛の花」など。

いずれも、私がよく知らない曲です。

全然知らないから聞いて勉強しているんだよ、と返すと、2 曲とも子どもたちからすれば相当有名な曲だったようで

「先生、時代の流れから取り残されてるよ！」

との有難いご指摘を多数いただいたところでした。

取り残されているかはさておき、この 2 曲を聞くことは私にとって「必要」なことでした。

なぜなら、来週末に大阪で依頼されているコンサートで、これらの曲を演奏することになっているからです。

そのコンサートは、児童養護施設といって様々な事情でお家の人と一緒に暮らせていない子どもたちが集団で生活をしている施設で行います。

その施設の子たちにいい演奏を届けるためにも、私は「春の夏」や「愛の花」を知っておく必要がありました。

ただ楽譜を追っているだけの演奏だけでなく、実際の楽曲を聞くと自然と
いい音が出やすくなるからです。

というわけで、いつもの朝の学級通信執筆タイムにこれらの曲を BGM と
してかけていたわけです。

一曲をじっくり聞くのではなく、聞き流しながら他の仕事を進められれば
一石二鳥ですし、きっとかかっている曲に興味を示す子が出てそこから話が
広がるかもしれない、ということも予想していました。

こんな風に、最近は自分にとって「必要度の高い」情報を選択して意図的
に楽しむことが増えました。

流行りや廃りを追うのではなく、自分の目標や役割において本当に大切な
情報は何かを考えて選び取るということです。



先にも書いた通り、平安時代や江戸時代に比べれば、現代は毎日が「情報
の大洪水」状態です。

ありとあらゆる情報が飛び交い、その速度は日ごとに増し、変化の流れも
急激になってきています。

そうした状況だからこそ、どこかでふと立ち止まって考える必要があると思うのです。

自分にとって、本当に大切なものは何か。

ということ、です。

我々は、毎日自分自身の「命そのもの」であるともいえる「時間」を使って過ごしています。

その時間の使い方こそが「自分の生き方」であるとも言えるでしょう。

昨日、「なぜその曲を聴いているのか」を尋ねてきた子どもたちと話しているうちに、今度のコンサートの話や児童福祉施設の話にもなりました。

そして「なぜそういう所で先生は演奏を続けているの？」と質問を重ねてきた子たちがいたので、朝の会で話してみることにしました。

私が、小学校教師になって初めて担任したクラスには、児童養護施設から通っていた子どもたちが3人いたこと。

休日を使ってその子たちの施設に行ってお話をしたり、勉強を教えたりしていたということ。

そのうちに、ある7歳の男の子から、「せんせい、ぼくのお父さんになってくれない？」と言われたことがあったこと。

実際のお父さんになることはできないけれど、自分に何かできることが無いかと思って始めたのがバイオリンの演奏だったということ。

以来、児童養護施設だけでなく、高齢者の方の介護施設や、障害者の方の福祉施設でも演奏をするようになったこと。

この世の中は「人喜ばせ合戦」だとみんなに教室で伝えている通り、せっかくバイオリンが弾けるようになったのだから、この力を誰かの喜びにつなげたいと思っているということ。

などなどを話すと、子どもたちは納得した様子でした。

そして、少しでもいい演奏を届けたい、少しでもいい音を奏でて多くの子どもたちを喜ばせたいと思っているから、朝に曲を流して聞いていたということなのです。

以前も通信に書いた通り、SOLAN 小学校には独自のカリキュラムである「マイタイム」が朝に設定されています。

この時間は、「今の自分に何か必要かを考えて行動に移す」時間です。

まだ頭がぼんやりしているから体を動かしてスッキリさせたい。
漢字の学習の目標達成に向けてドリルを進める必要がある。
1日の授業の準備を先に済ませてしまった方がいいな。
まだクリアしていない計算プリントに挑戦しよう。
逆上がりの練習だけは毎日欠かさずやらないとな。
今読んでいる本をどうしても最後まで読み切りたい。
昨日の作文がまだ途中だから完成するところまで書こう。
漢字と計算を進めてから友達とおしゃべりして過ごそうかな。
一週間の始めだからまずはロッカーの中をすっきり整頓しよう。
そんな風に「自分で考えられること」は、きっと山ほどあることでしょう。
「何が大切か」「何が必要か」を、みんなは既に考えられる段階に達しつつあります。

その力を鍛える絶好のチャンスが、このマイタイムなんですね。
実際に4-1で起きている「マイタイムの変革」については、これまで通信でもたびたび紹介してきました。

そして、自分にとって大切なことや必要なことを考えるためには、「こんな風になりたい」という願いや目標がいります。

そして、その大切さを伝えるためには、まず「身近な大人が手本を示す」ことが大切です。

ですから、そのマイタイムの時間を使って、私は学級通信を書いたり、音楽を聴いて覚えたり、子どもたちと他愛ない会話をしたりしているわけです。

なぜならば、もっと文章や演奏がうまくなりたく、色んな言葉を子どもたちとたくさん交わしたいと思っているからです。

これらはすべて、私にとって「必要で大切なこと」だということですね。

溢れるほどの情報を一身に受けながら日々を過ごしている現代だからこそ、「自分がどんな風に生きたいか」という目標を見定め、「今の自分に何が必要か」を選び取れる選択力を共に磨いていきたいと思えます。

みんなのマイタイムの使い方、これからもその変化の過程を楽しみながら見守り続けたいと思えます。

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

